

## IBM Rational Developer for i for SOA Construction V7.5

### ハイライト

- **Web および SOA ベースのアプリケーションの社内開発を簡素化し、加速化**
- **RPG および COBOL プログラムなどの価値あるレガシー・アプリケーション・アセットを、Web アプリケーションや Web サービスに再利用および拡張可能**
- **さまざまな環境へのデプロイメントに対応し、EGL ソースを Java または COBOL コードに変換可能**
- **RPG および COBOL プログラミングだけでなく、Web 開発向けに Eclipse ベースの統合開発環境を提供**
- **5250 データストリームから動的な Web インターフェースを迅速かつ簡単に生成**

### 開発に必要なコスト、時間、およびトレーニングを削減

IBM Rational Developer for i for SOA Construction V7.5 を使用すると、革新的で豊富な機能を持つ Web アプリケーションおよびユーザー・インターフェース (UI) を構築できるため、バックエンドの RPG、COBOL、およびエンタープライズ開発言語 (EGL) を使用したビジネス・アプリケーションに連携できます。IBM Rational Developer for i for SOA Construction V7.5 には、i をターゲットとする EGL ベースの強力な Web 開発ツールが含まれています。また、新しいコンピューター・テクノロジーを活用して、トレーニング工数を最小限にしながら、変化する新しいビジネスの要件を達成できるため、アプリケーション開発の生産性が向上します。

IBM Rational Developer for i for SOA Construction V7.5 は、SOA アプリケーションの開発の簡素化と加速化、レガシー・システムの最新化、開発コストの削減を支援します。

既存の RPG および COBOL アプリケーションを Web サービスなどのサービス・アクセスに必要な成果物に変換することで、RPG および COBOL を使用したプログラム、サービス・プログラムなどの価値ある既存の IT アセットを再利用および拡張できます。IBM Rational Developer for i に用意されたウィザードを使用するだけで、i にデプロイできる Web サービスを作成できます。こうしたアプリケーションは、さらに IBM Rational Business Developer を使用して Web に拡張できます。

本製品は、以下の製品を含みます。

- *IBM Rational Business Developer*
- *IBM Rational Developer for i*
- *IBM Rational HATS Toolkit*

## IBM Rational Business Developer V7.5 での構築

IBM Rational Business Developer V7.5 は、Web および SOA アプリケーションの開発の簡素化と加速化を支援し、レガシー・システムの最新化と開発コストの削減に役立ちます。既存の RPG および COBOL プログラムやサービス・プログラムなど、価値ある既存の IT アセットを再利用して拡張できます。また、IBM VisualAge® Generator アプリケーションを EGL に自動変換する機能が組み込まれています。

EGL では、ターゲットの実行プラットフォームおよび関連ミドルウェアの詳細が表示されないため、そうした詳細に煩わされずに、ベースの実装テクノロジーより、ビジネスの問題に集中できるようになります。Java および Web テクノロジーの経験が浅いか、まったく経験がなくても、EGL を使用して企業クラスのサービスおよびアプリケーションを迅速かつ簡単に作成できます。また、i プログラミングの経験が浅いか、まったく経験がなくても、EGL を使用すると、高度に最適化された iWeb サービスおよびプログラムを迅速に作成できます。

### さまざまな開発機能

Rational Business Developer は、以下の開発をはじめ、最新のビジネス・アプリケーションに対する広範な要求に対応しています。

#### • ビジネス・サービス

EGL 言語には「サービス」という概念が組み込まれており、非常に単純で、しかもわかりやすい方法でサービスを作成、消費できる上に、システム・アーキテクチャーにサービス指向を浸透させることができます。

#### • Web アプリケーション

EGL は Java Server Faces (JSF) フレームワークおよび JSF ツールと緊密に統合されているため、Java や JSF フレームワークについて詳しい知識がなくても Web アプリケーションを簡単かつ生産的な方法で作成できます。

#### • ポートレット

EGL JSF Web アプリケーションは、WebSphere® PortalServer にもデプロイできます。EGL には、ポートレット間通信のサポートを始め、ポータル・フレームワークとのインターフェース機能が組み込まれています。

#### • レポート

EGL は、オープン・ソースのレポート・エンジンである Business Intelligence and Reporting Tools (BIRT) と統合されているため、プロフェッショナルなレポートを作成できます。

#### • バッチ・システム

EGL には「バッチ・プログラム」という概念が組み込まれているため、エンド・ユーザーとの最小限の対話で生成して実行できます (例えば、レポートの作成や、データベースのロードおよび更新のバッチ)。

#### • テキスト・ユーザー・インターフェース・アプリケーション

レガシー・システムから最新の開発環境へのマイグレーションを円滑化するために、EGL には、従来の 5250 の文字ベースのユーザー・インターフェースと、関連するプログラミング構造を作成する機能が組み込まれています。

#### • EGL と RPG/COBOL アプリケーションとの緊密な統合

RPG/COBOL アプリケーションを Web に容易に拡張できます。

## 業界トップクラスのツールを拡張

Rational Business Developer V7.5 には、以下の機能拡張が含まれます。

#### • Web アプリケーションの

WebSphere Application Server V7.0 へのデプロイメントをサポートします。

• ポートレットの WebSphere Portal V6.1 へのデプロイメントをサポートします。

• Java Server Faces 1.2 をサポートします。

IBM は、機能拡張された EGL Rich UI テクノロジー (以前の名称は EGL Rich Web) を IBM Rational Business Developer に実装して、提供を開始しました。このテクノロジーにより、IT 組織は、難解な Ajax、Javascript、REST、HTML、XML を習得したり、プログラミングする必要がなく、機能の豊富な Web 2.0 スタイルのソリューションを迅速にデリバリーできます。EGL を使用すると、組織は、フロントエンドのユーザー・インターフェース、バックエンドのサービス、ビジネス・ロジックを含む完全なソリューションを単一の言語で構築できるようになります。この能力によって、EGL のクロス・プラットフォーム統合機能およびサービス・デプロイメント機能を EGL Rich UI と統合すると、重要で実績のある企業レベルのアセットやデータを、他の組織、パートナー、ユーザーに対してより最新の方法で提供できるようになります。Web 2.0 スタイルのアプリケーションは、情報の表示、マッシュアップ、検証を行うすべてのロジックがクライアント側で実行されるため、即応性に優れ、充実したユーザー・エクスペリエンスにより、生産性が改善され、革新的なビジネス・プロセスを実現します。

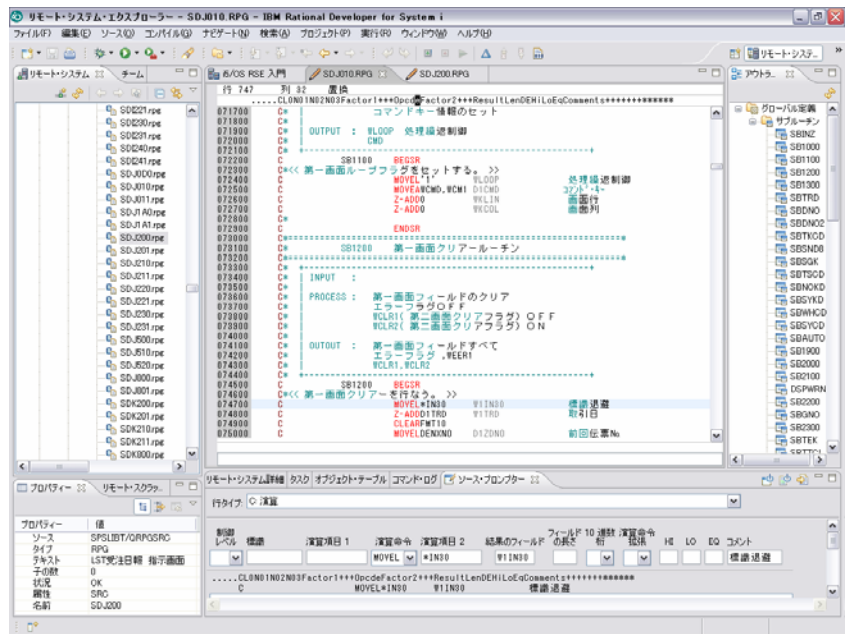
## IBM Rational Developer for i V7.5 での構築

Rational Developer for i V7.5 は、RPG  
および COBOL のプログラマー向けに Eclipse ベースの統合開発環境  
(IDE) を提供します。編集、コンパイル、およびデバッグ機能も組み込まれています。IBM Rational Developer for i と IBM Rational Business Developer の組み合わせにより、以下のことを行えるようになります。

- Web ベースのアプリケーション開発とデプロイ
- 既存の i アプリケーション向け Web サービスの作成
- EGL を使用して、既存のアプリケーションを Web ユーザー・インターフェースに拡張

V7.5 の主な機能拡張は、以下のとおりです。

- IBM Rational Application Developer for WebSphere Software V7.5 との統合
- 起動時およびシステム処置時のパフォーマンスの改善
- IBM i リソースを共通の変更管理リポジトリに一元化するための i プロジェクト・サポート機能の向上



Rational Developer for i V7.5 を用いた Eclipse による開発イメージ  
SEU の行コマンド等も使用可能



## IBM Rational HATS Toolkit V7.5 での構築

HATS Toolkit には、5250 データストリームから動的な Web インターフェースを迅速かつ容易に生成する、デフォルトのトランスフォーメーション・エンジンが組み込まれています。また、生成された Web インターフェースは、HATS Toolkit を使用してカスタマイズできます。さらに、HATS を使用すると、ホスト・アプリケーションに含まれるビジネス・ロジックおよびトランザクションに対して、標準プログラミング・インターフェースを提供する Web サービスを作成できます。HATS Toolkit でアプリケーションを作成し、実稼働環境にデプロイするには、HATS for 5250 Applications とメディアを購入する必要があります。

### HATS V7.5 の主な機能拡張

- 開発者が信頼性の高い Web サービスを簡単に構築できるビジュアル・マクロ・エディター・ツール
- Rational Application Developer for V7.5 をはじめとする最新バージョンの Rational 開発環境のサポート
- 最新バージョンの WebSphere Application Server、WebSphere Portal、Lotus Expeditor、および Eclipse Rich Client Platform のサポート
- 

WebFacing またはリンクされた HATS/WebFacing アプリケーションに対する Firefox のサポート

## IBM Rational 開発ツールが 選ばれる理由

各種ツールがバンドルされた Rational Developer for i for SOA Construction を使用することで、IBM i 環境で作業し、ベースの実装テクノロジーより、ビジネスの問題解決に集中する必要があるほぼすべての人が、利益を享受できます。

Rational Developer for i for SOA Construction により、アプリケーションを最新化し、既存の要員を再配置し、アセットの目的を再定義することができるため、組織の生産性を改善するのに役立ちます。

### 追加情報

Rational Developer for i for SOA Construction V7.5 の詳細については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下にアクセスしてください。

[ibm.com/jp/software/rational/products/design/rdisoa/](http://ibm.com/jp/software/rational/products/design/rdisoa/)

お問い合わせは、IBM ビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤル IBM (0120-04-1992) へ。受付時間：月～金 9:00～18:00 (祝日 12/30～1/3 を除く) 携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号でご利用ください。ダイヤル IBM 03-6220-8002 (この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

© Copyright IBM Corporation 2008  
日本アイ・ピー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan  
2008 年 10 月  
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Rational および WebSphere は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または TM) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

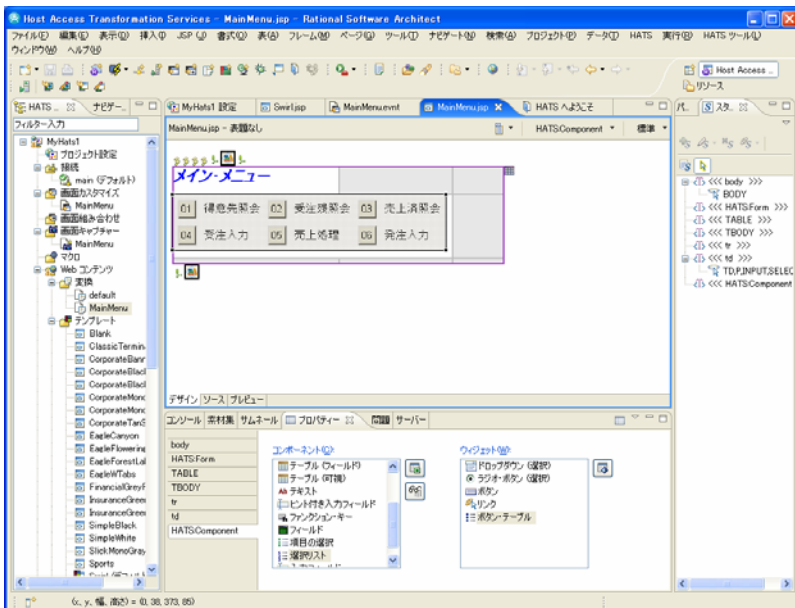
Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本書に含まれる情報は、情報提供のみを目的に提供されています。本文書の情報の完全性および正確性については最善の努力を払いましたが、本文書の内容は法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。また、本文書は IBM の現在の製品プランまたは戦略に基づくものです。この製品プランまたは戦略は予告なく変更されることがあります。IBM は本文書およびその他関連文書の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本文書に含まれる内容は、IBM またはそのサプライヤーもしくはライセンサーによるいかなる保証または説明も提供する、またはその効果があると見なされるものではなく、また IBM ソフトウェアの使用について規定し適用される使用許諾契約書の条項を変更するものではありません。

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。



HATS Toolkit と Rational Software Delivery Platform(SDP)を使用して、Web 画面への変換も自在にカスタマイズ